



令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果（概況）について

今年度の4月、6年生を対象に実施した文部科学省による標記の調査に関しまして、本校の結果の概況と今後の取組についてお知らせします。

1 本調査について

(1) 調査の目的

- ア 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査実施日 令和5年4月18日（火）

(3) 調査内容

ア 教科に関する調査（国語、算数）

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識や技能など 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能を実生活の様々な場面で活用する力 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・学習意欲や学習方法、学習環境、生活面等に関する調査



2 本調査の結果及び対応について

この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であることや学校における教育活動の一側面であること。結果については本年度の6年生の傾向であって、学校全体のものではありません。よって、後に記す調査結果についての記述内容等は、市の基準に基づき全国の状況と比較したものです。

3 各教科の調査結果について

<芦屋市が示す基準> 全国平均を100とした場合

- ・きわめて良好・・・115以上
- ・良好・・・105以上115未満
- ・おおむね良好・・・95以上105未満
- ・課題あり・・・95未満

(1) 全体的な概要

国語	おおむね良好
算数	良好

(2) 国語科

国語科 学習指導要領 の内容	話すこと・聞くこと	良好
	書くこと	おおむね良好
	読むこと	おおむね良好
	言葉の特徴や使い方に関する事項	良好
	情報の扱い方に関する事項	良好

○国語科の状況

「言葉の特徴や使い方に関する事項」の、漢字を文の中で正しく使うことができるかをみる問題では、全国平均よりかなり高くできていますが、日常よく使われる敬語を理解しているかをみる問題は、全国平均より低く課題があります。

「情報の取扱いに関する事項」の、情報と情報、語句と語句の関係を理解して使うことができるかをみる問題は、全国平均より高くできています。

「読むこと」の問題の、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる問題では、全国平均をやや下回っていますので力の入れどころです。

(3) 算数科

算数科 学習指導要領 の内容	数と計算	良好
	図形	良好
	変化と関係	良好
	データの活用	おおむね良好

○算数科の状況

算数では、平均に近いものもいくつかありますが、全ての問題で全国の平均点を上回り、半数近くが10ポイント以上の差があります。特に「数と計算」の、小数の加法や乗法を用いて解く問題は、全国平均よりかなり高くできています。

「変化と関係」の、比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答え方を、式や言葉を用いて記述できるかを問う問題では、全国平均より20ポイント以上差をつけてできています。

裏もあります。



4 生活・学習環境に関わる結果について（抜粋）

※肯定的な回答のあった数値で表しています。

	質問内容	回答率 (%)	
		本校	全国
1	朝食を毎日食べていますか	95.8	93.9
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.5	81.0
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.6	90.5
4	自分には、よいところがあると思いますか	84.5	83.5
5	将来の夢や目標を持っていますか	71.9	81.5
6	人が困っているときは、進んで助けていますか。	91.6	91.6
7	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.6	96.9
8	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.2	95.9
9	学校に行くのは楽しいと思いますか	91.6	85.3
10	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	74.7	76.5
11	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	74.7	70.7
12	新聞を読んでいますか	15.5	12.6
13	読書は好きですか	77.5	71.8
14	今住んでいる地域の行事に参加していますか	46.5	57.8
15	地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思いますか	83.1	76.8
16	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	81.7	72.5
17	日本やあなたが住んでいる地域について、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	81.6	78.1
18	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか	84.5	62.4
19	学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	94.4	95.1
20	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	74.6	63.7
21	5年生までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	77.4	78.8
22	学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	76.1	77.4
23	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	80.3	81.9
24	あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	76.1	77.2
25	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	71.9	75.7
26	道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	84.5	83.6
27	国語の勉強は好きですか	59.1	61.5
28	国語の勉強は大切だと思いますか	92.9	94.2
29	国語の授業の内容はよく分かりますか	80.2	85.7
30	国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか	90.1	92.8
31	算数の勉強は好きですか	64.7	61.4
32	算数の勉強は大切だと思いますか	93.0	94.2
33	算数の授業の内容はよく分かりますか	80.3	81.2
34	算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか	90.1	93.3
35	英語の勉強は好きですか	81.7	69.3
36	英語の勉強は大切だと思いますか	95.7	91.3

※ 全国と本校を比べて、5ポイント以上の差がある時、高い数値を網掛けしています。

《今回の調査の傾向等を受けて》

左の表は今年度の項目の抜粋です。本校と全国の回答率を比べて10ポイントくらいの差がある項目が5つあります。良いものが3つ。課題が2つです。

5番「将来の夢や目標を持っていますか」の項目は、全国は81.5%ですが本校では71.9%でした。全国より9.6ポイント低いです。現時点でまだ夢や目標が定まっていなだけでなので課題とは言わないでしようが、気になるところです。

本校では子どもたちが自分のキャリアを形成していく参考となるよう、5・6年生対象で、10月26日に社会で活躍する方をお招きし、講演会を持ちました。今後もこのような機会を継続して設け、子どもが将来を見据えて日々生活できるよう取り組んでいきます。

住んでいる地域に関わる項目で、14番「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目は、全国も57.8%とそう高くはないのですが、本校は46.5%でした。全国との差は11.3ポイントありますが、次の15番「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」は、全国の76.8%に対し、本校は83.1%と6.3ポイント高い結果でした。今後が楽しみな結果と言えます。

コロナ禍で地域のイベントが少なかったことが影響しているかもしれませんが、9月30日に開催されたコミスク秋祭りには、たくさん子どもたちが参加しており、多くのイベントが今後復活していくことを考えると、参加する機会は増えていくと思われれます。地域に活気を与えるものになればと、期待せずにはられません。

16番「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」の項目は、全国が72.5%、本校は81.7%、その差は9.2ポイントも高いです。35番「英語の勉強は好きですか」の全国69.3%、本校81.7%、その差が12.4ポイントや、36番「英語の勉強は大切だと思いますか」の全国91.3%、本校95.7%、その差4.4ポイントとともに、英語や外国の人への関心の高さが見られます。

3・4年生の外国語活動、5・6年生の英語学習等の日ごろの授業での取り組みだけでなく、6年生の修学旅行の宮島や、京都への校外学習での訪日客へのインタビュー活動を通じて、よりグローバルな人材に育てていってくれることを願っています。

全国と本校で最も差が見られたのが18番「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目です。全国が62.4%、本校84.5%、その差は22.1ポイントもありました。早くからICT教育に力を入れてきた芦屋市の強みが表れていると言えます。

また本校でも、毎月のタブレット端末を利用したドリルパークの活用率が、目標に掲げている40%を上回っており、ICT機器を日常的に学習に活用していることの現れだと考えています。今後も子どもたちの学習に効果的な使い方を探求し、活用していきたいと考えています。

